



上野原市立島田小学校における地域学校協働活動

平成30年度からコミュニティ・スクールを設置し、地域の団体・組織を積極的に活用し、学校と地域が一体となって子どもたちを育てている。コーディネーターは学校運営協議会委員として学校運営に参画し、小学校及び「しまだクラブ」(放課後子ども教室)と、地域の支援協力団体・組織との連絡・調整を図り、三者をつなぐ役目を果たしている。

地域は、〈人材・教材の提供〉〈子どもたちの見守り〉〈学校・地域の環境整備〉で支援し、学校は、〈こまめな情報発信(月2回の学校便りや毎日のblog更新等)〉〈活動場所や設備等の提供〉を通して地域活動を促進している。地域内に「緩やかなネットワーク」が形成され、地域学校協働活動が根付き、負担感なく活動が自走していく理想の形ができつつある。



【実際の活動の様子】

◇ 社会福祉協議会といどばた会による福祉集会



いどばた会は、「5年後10年後も、ずっと住み続けられる地域にしていくために、一緒に考えよう」と、地域住民が声を掛け合い集まった会です。

子どもたちに多くの人と接する機会を設けたい学校と、地域の子もたちと交流の機会を希望するいどばた会。両者の意向を社会福祉協議会がつなぐ形で実施。「地域を考える」をテーマに、〈桃太郎伝説〉〈地域〉〈島田小〉〈桂川〉の4つを題材に、様々な自作教材や実物を持ち寄った講話で、子どもたちに地域のこと・地域の方の思いを伝え、新たに地域とつながるきっかけを創出する会となった。

縦割り班での受講も、「みんなで学ぶ」良い雰囲気をつくっていた。



桃太郎伝説



桂川：鮎釣り竿

島田地区における 協力団体による活動例



市立図書館司書による 読み聞かせ



保護者による遊具の塗装



登下校の見守り



森林組合特製アスレチック